

# 産技研NEWS ちえのわ

No.28

令和3年度 第1号

2021.5 May

地方独立行政法人京都市産業技術研究所  機関誌

<http://tc-kyoto.or.jp/>

## CONTENTS

- 02 【特集】令和元年度・2年度 伝統産業技術後継者育成研修 修了作品展  
●陶磁器コース  
●漆工コース・漆工応用コース  
●京友禅染（手描）技術者研修 基礎コース・プロ養成コース
- 05 事業報告  
●京都知恵産業フェア2021開催  
●「京都×能装束」文化ものづくりプロジェクト 新商品展示販売2ndを開催
- 06 事業報告  
●「京都酵母」による欧州向けの新たな日本酒の開発事業  
～「京都酵母」で京都の酒を世界的ブランドへ～
- 07 事業報告  
●第2回 京都インターナショナル ギフト・ショー出展
- 08 事業報告  
●京都工芸研究会オンライントークライブを開催 YouTubeLIVE「工芸な人々」Vol.3
- 事業紹介  
●ニューノーマル時代へ向けた研究会の新たな取組事例
- 09 寄稿  
●鈴鹿 可奈子 氏（株式会社聖護院八ッ橋総本店専務取締役/  
京都市産業技術研究所アドバイザー）  
若手作家・職人インタビュー  
●第18回 吉田 麗 さん
- 10 知恵産業融合センター成果事例紹介  
●「TORIBEKKO™」（織籠甲）の開発
- 11 機器・施設紹介  
●ICP質量分析装置～各種材料・製品に含まれる極微量金属成分の測定ができます。～
- 12 お知らせ  
●副理事長就退任挨拶  
●令和2年度 伝統産業技術後継者育成研修修了実績報告



## 陶磁器コース

会場：京都陶磁器会館 2Fギャラリースペース

日時※：令和元年度修了作品展 令和3年2月20日（土）、2月21日（日）、2月23日（火・祝）

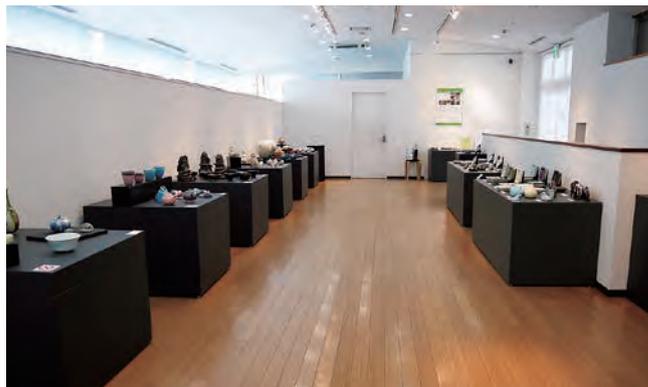
令和2年度修了作品展 令和3年2月27日（土）～3月3日（水）

10時～18時（最終日は16時閉場）

来場者数：228名

※緊急事態宣言期間中は、土日祝日のみ開催し、3月1日（月）からの宣言解除後は、平日も開催しました。

伝統産業技術後継者育成研修「陶磁器コース」では京都の伝統的工芸品の一つである「京焼・清水焼」のつくり手を育成しており、成形、絵付け、釉薬、及び素地に関してやきものをつくる上での基礎的な技術と知識を習得するため研修を行っています。今回は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえ延期となっていました令和元年度の作品展を開催し、続けて、令和2年度の作品に展示替えし、同作品展を開催しました。限られた日数での開催となりましたが、陶磁器業界の多くの関係者をはじめ、一般の方々にもご高覧いただきました。



【会場風景】

会期中で回答いただいたアンケートには、「新しい研究成果を見ることができ、陶磁器の（新たな）可能性を感じた。」「若い作家を知る良い機会なので、継続して開催してほしい。」など高評価のご意見を頂いたとともに、今後にかすべき貴重なご意見やご指摘も頂くことができました。今後も、これまで以上に充実した研修事業を実施することで、さらにより良い作品展が開催できるよう取り組んでまいります。

本作品展にご来場いただきました皆様には、感謝申し上げます。



【下絵付実習】課題作品



【上絵付実習】課題作品



【陶塑実習】課題作品



【打込成形実習】課題作品



【自主制作】課題作品

紹介動画を公開していますので、是非ご覧ください！

陶磁器コース修了作品展  
紹介動画



## 漆工コース・漆工応用コース

伝統産業技術後継者育成研修・漆工研修修了作品展を京都市勤業館みやこめっせB1F・京都伝統産業ミュージアムMOCADギャラリーにて開催しました。昨年開催ができなかった令和元年度「漆工コース」修了作品展を令和3年2月25日(木)～3月1日(月)の日程で開催し、続けて、令和2年度「漆工応用コース」修了作品展を令和3年3月3日(水)～3月7日(日)の日程で行い、全体として10日間開催しました。

伝統産業技術後継者育成研修は、伝統技術を習得することを目的とし、塗漆技法に始まり、金銀粉を用いた蒔絵などの加飾技法に至るまで、作品制作の複雑な過程を学ぶことにより、将来の漆工技術者を育成しています。「漆工コース」の作品展では、1年の研修期間で制作した、パネル、飾り箱、丸盆、花器、乾漆などの作品(約40点)を展示し、「漆工応用コース」の作品展では、重箱、棗(なつめ)、盆、夫婦椀、螺鈿(らでん)パネルなど、加飾を中心とした作品(約40点)を展示しました。各コースの研修生らが、講師の先生方の細部にわたる指導を仰ぎながら、何度も案を練り直し、個性豊かな図案を考えました。それらを実際の作品にするにあたり、難度の高い伝統的な技法にチャレンジしながら、制作に取り組みました。最終的に、研修生の感性をいかした質の高い作品となりました。

開催期間中は、寒い時期にもかかわらず、10日間でのべ1,250人もの方々にご来場いただきました。また、門川京都市長にも研修の成果をご覧いただきました。業界関係者をはじめ多くの皆様にご高覧いただくことで、研修生の励みになると同時に、各自が伝統を引き継いでいくことの重みを感じ取ることができ、大変有意義な作品展を開催することができました。今回ご高覧いただいた皆様には、お礼申し上げます。

現在、令和2年度漆工応用コース修了作品展で展示した一部の作品は、京都市産技研内に展示しておりますので、ご来所の際には是非ご覧ください。



紹介動画を公開していますので、是非ご覧ください！

漆工コース・漆工応用コース  
修了作品展 紹介動画



**Creating The Future**  
挑戦を続け、共に未来を創る

増田医科器械は、先進のテクノロジーと熱いハートで、医療の現場や研究現場のお客様、そして患者様のお役に立つことが使命であり喜びです。



[www.masudaika.co.jp](http://www.masudaika.co.jp)



先端医療のパイオニアへー。  
株式会社 **増田医科器械**  
理化学事業部

〒612-8443 京都市伏見区竹田藁屋町50番地  
TEL 075-623-7114 FAX 075-623-7134  
E-mail : rika-c@masudaika.co.jp

## 京友禅染（手描）技術者研修 基礎コース・プロ養成コース

京友禅染（手描）技術者研修基礎コース・プロ養成コース修了作品展を京都手描友禅協同組合のご協力のもと、京都市勧業館みやこめっせ第2展示場「第26回京友禅総合展『京手描友禅作品展』」会場にて開催しました。今回は、令和2年度の修了作品に加え、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い発表できなかった令和元年度の修了作品を展示し、令和3年3月13日（土）、14日（日）の会期中、977名の来場者にご高覧いただきました。

基礎コースでは、手描友禅の基礎的な技術を習得するため、見本裂を手本に下絵工程から金彩工程までの実習と講義を行い、令和元年度修了生8名、令和2年度修了生10名が約3ヶ月のカリキュラムで制作した課題作品を展示いたしました。

プロ養成コースでは、染帯及び着物のデザインから手描友禅技術について、工房実習を含めた各工程の名匠による実践的な技術指導を行い、令和元年度修了生8名（本科3名、専科5名）と令和2年度修了生7名（本科3名、専科4名）が約1年間のカリキュラムで制作した作品（本科；課題作品と名古屋帯、専科；訪問着）を展示いたしました。

今回、初めて所外で基礎コースの修了作品を展示しましたが、基礎コースからプロ養成コースに至る一連の研修プロセスをご覧いただくよい機会となりました。また、3月13日（土）には、プロ養成コース修了生のPRと就労支援のため、修了作品プレゼンテーションを開催し、多くの業界関係者にご参集いただきました。修了生の皆様の今後につながる一助となれば幸いです。



基礎コース修了作品



プロ養成コース修了作品プレゼンテーション



令和元年度 京都市長賞・京都織物卸商業組合賞  
「ソンプレロ」駒井 梨沙（専科）



令和2年度 京都市長賞・京都織物卸商業組合賞  
「Swag」大塚 なつ実（専科）

紹介動画を公開していますので、是非ご覧ください！

京友禅染（手描）技術者研修  
基礎コース・プロ養成コース  
修了作品展 紹介動画



西陣織工業組合

<https://nishijin.or.jp/>

075-432-6131

西陣織元コレクション西陣織会館 ONLINE

<https://nishijin-online.org/>

075-451-9231

## 京都知恵産業フェア2021開催

京都の知恵をいかした個性豊かなライフスタイル関連の商品を一堂に集めたBtoBの展示商談会「京都知恵産業フェア2021」が、京都市勧業館「みやこめっせ」で令和3年3月10日（水）、11日（木）に、「第2回京都国際・ギフト・ショー」と併催して開催されました。京都市産技研は、同展の実行委員会のメンバーとして参画しています。「ライフスタイル」「ファッション」「ビューティ&コスメ」

「フード」の分野の事業者約120社が出展。京都市産技研の知恵創出“目の輝き”認定企業である、株式会社辻商店、佐々木酒造株式会社、洛中高岡屋（株式会社高岡）も出展されました。事業者は、京都ならではの技術や伝統、デザイン等を感じられる商品を、訪れたバイヤーに熱心にPRしていました。



## 「京都×能装束」文化ものづくりプロジェクト 新商品展示販売2ndを開催

於：京都伝統産業ミュージアムMOCADギャラリー 3月18日（木）～22日（月）

京都市産技研では、「美術や文化を楽しむライフスタイルブランドの構築」を目指し、京都市内企業4社〔(株) 亀田富染工場、秀和(株)、(株) 高岡、宮井(株)〕と協力して、(一財) 林原美術館所蔵の能装束を活用した商品開発「京都×能装束」文化ものづくりプロジェクトを進めています。昨年8月に4社合同による初めての成果披露となった展示販売会に続いて、京都伝統産業ミュージアムMOCADギャラリーにおいて2回目の展示販売会を開催しました。

コンセプトテーマの「桃山モード。それは凛とした可憐さ。」のもと、プロジェクトの統一感を醸し出す、共通の柄を用いたメインライン（16点）と各参画企業が自社の商材を活かすために選定した柄を用いたオリジナルライン（17点）で構成し、新商品の2点も加えて披露しました。

来場者数は5日間で延べ335名となり、前回の倍近くの方にご覧いただくことができました。新たに作成したプロモーション動画を会場とWebで公開し、能装束が持つ感性と文化的価値を現代のライフスタイル商品にリファインす

る取組としてアピールいたしました。また、プロジェクトの情報発信としてSNS上でティザー動画を含む情報発信を積極的に行いました。

これらの取組の成果を今後の活動にいかし、引き続き文化的価値を活かす商品開発を京都のものづくり企業と共に取り組んで参ります。（デザインチーム）



展示会場

# 「京都酵母」による欧州向けの新たな日本酒の開発事業 ～「京都酵母」で京都の酒を世界的ブランドへ～

## 日本産酒類のブランド化推進事業

国税庁では日本産酒類の更なる輸出拡大のために、海外向けの日本産酒類のブランド化の推進に貢献するためのモデル事例構築に関わる調査・実証分析等、一連の事業を令和2年度に実施しました。京都市産技研は本事業に採択され、京都酒造工業研究会の会員企業と共に、京都市産技研が開発した「京都酵母」のブランド化を推進するための事業を実施しました。

## 「京都酵母」のロゴ作成

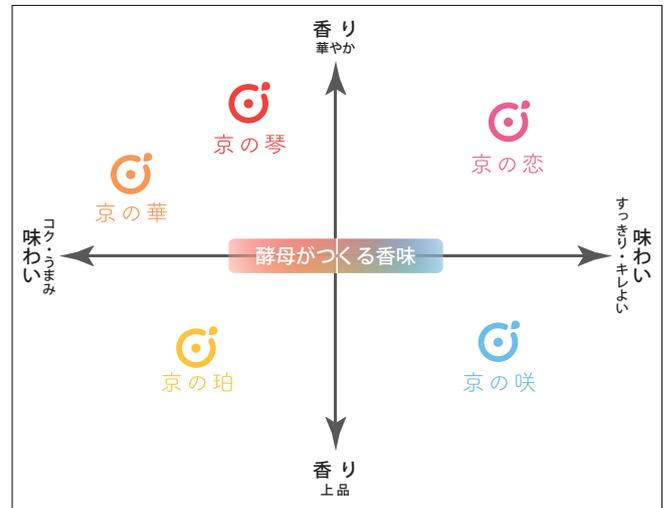
「京都酵母」を、日本酒に華やかな香りやコクのある味わい等、特徴ある様々な香味を持たせることができる酵母としてブランド化を図るため、ロゴを作成しました。



ロゴのデザインは、利き猪口に使われる「蛇の目」から着想し、酵母の細胞核と酵母の出芽の様子を表現しました。各酵母がつくる香味を色に見立て、様々な香味の提案ができるイメージを虹色のグラデーションで表しています。



試作品



京都酵母の香味マップ

## アッサンブラージュ法の開発

「コクがあるのにキレのよい」というような複雑な香味を有する製品開発のため、従来の官能評価に加え、計測技術による客観的な酒質評価による、ワインの醸造で使われるアッサンブラージュ（ブレンド）法を開発しました。

## 試作品の開発

本事業では、一般的に原料米の「磨き」の程度を示す精米歩合による「ランク」に対して、香味の特徴を重視した、日本酒の「スタイル」に価値を求めた商品開発を進めました。

京都酒造工業研究会の会員企業と共に、「京都酵母」と京都産の米を用いて、日本酒を初めて飲む外国の方にも親しみやすい、低アルコール、発泡性、アッサンブラージュ、酸味に特徴のある日本酒の試作品を開発しました。

## アンケート調査の実施

海外向け製品としての評価を得るため、日本在住の外国人を主な対象者として試作品のアンケート調査を実施しました。また、京都国際・ギフト・ショー（令和3年3月10日（水）、11日（木）開催）で「京都酵母」の展示を行うとともに、来場者に試作品を配布してアンケート調査を実施しました。

これらのアンケート調査の評価を基に、「京都酵母」を利用した海外向けの製品開発を更に進めていきます。

## 第2回 京都インターナショナル ギフト・ショー出展

伝統とモダンと革新の商品見本市，第2回京都インターナショナル・ギフト・ショーが，令和3年3月10日（水），11日（木）に京都市勤業館「みやこめッセ」で開催され，京都市産技研が出展しました。

出展ブースでは，京都市産技研が開発した「京都酵母」を使用し，京都の9つの蔵元が新たに試作した日本酒を配布しました。試作品を持ち帰りいただいた方には，ラベルに印刷されたQRコードからアクセスできるアンケート調査に協力いただき，調査の結果を今後の商品開発にいかしていく予定です。

また，安土桃山時代の能装束デザインを活用し，京都市産技研と京都市内のもづくり企業が開発したライフスタイル商品の展示も行いました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策に万全を尽くしての開催となりましたが，2日間で18,000人以上の来場者が訪れ，京都市産技研のブースにも多くの皆様にお越しいただきました。ありがとうございました。



株式会社 島津製作所 Shimadzu Corporation

### 科学技術で社会に貢献する。

**SHIMADZU**  
Excellence in Science

島津製作所がすべきこと。

医療現場に必要な検査試薬・装置を届けること。  
感染症に立ち向かう、技術や製品の研究開発を進めること。  
ワクチン・治療薬の開発をサポートすること。

私たちは、科学技術の力で、医療の最前線を支援します。



<https://www.shimadzu.co.jp/covid-19/>

## 京都工芸研究会オンライントークライブを開催 YouTubeLIVE「工芸な人々」Vol.3

京都工芸研究会では、YouTubeLIVEを用いてトークイベント「工芸な人々」Vol.3をオンライン生放送で実施しました。

過去2回にわたって「工芸な人々」と題して、多くの一般参加者と共に、京都の伝統産業の魅力と課題について直接対話によるディスカッションをしてまいりました。しかし、コロナ禍の状況における感染リスクを考慮し、また新たな挑戦として、第3回となる今回はYouTubeLIVEによるオンライン生放送に取り組みました。

オンラインでの生放送は、我々事務局も会員の皆様も初体験のため、配信の仕組みや機材について一から学ぶことも多くありましたが、事務局も会員の皆様も一体となって無事実現に至りました。



放送風景

出演いただいた会員の皆様にはリ

ラックスして「後継」というテーマでトークを展開していただきました。脱サラして工芸の道を志したきっかけや、家業を継いだ方の職業観、また最近の若手への期待など終始明るいムードとなり、次回に繋げるテーマも見出して、滞りなく放送を終えることができました。出演者からも「楽しい経験だった」と好評いただき、また再生も順調に伸びております。見逃した方はこちらからご覧ください。



トークライブ画面

<https://youtu.be/8Uy3pUokhkc>

コロナ禍によってやむなく行った形式ではありますが、情報発信の新たな手段を実現でき、得るものも多かった事業となりました。本事業で得られたノウハウにさらなる改善を加え、情報発信の充実にかしたいと思っております。

## 事業紹介

### ニューノーマル時代へ向けた研究会の新たな取組事例

京都ものづくり協力会では、令和3年2月3日（水）に新春講演会をオンライン形式で開催しました。各研究会でも研究会を連携した非接触の新たな取組を進めています。



京都酒造工業研究会では令和2年9月30日（水）に京都市産技研を会場に実施した研究会を録画し、京都ものづくり協力会会員向けに、令和3年1月22日（金）～1月29日（金）の期間限定で動画の配信を行いました。視聴さ

れた方からは、聞きたい講演があっても日程が合わずに、参加できなかったこともあったが、オンデマンド視聴できることは非常にありがたいという評価を頂きました。

鍍秀会では令和3年2月24日（水）に、京都ものづくり協力会との共催で、先端技術セミナーをオンライン形式で実施しました。「金属3Dプリンターの現状と展望」について、（地

独）大阪産業技術研究所の中本貴之先生に講演いただきました。参加者からは「仕事や仕事終わりでもすぐに参加できるとの声頂き、盛況のうちに終わることができました。」

西陣織研究会と京染精練染色研究会では、合同で、令和3年3月5日（金）にオンライン形式のセミナーを実施しました。「マスクに求められる機能、その試験評価法について」というテーマで（一財）カケンテストセンター大阪事業所の倉本幹也先生に講演いただき、多くの方に視聴いただきました。



オンラインセミナー実施時の京都市産技研の様子

研究会では、コロナ禍における新たな実施手法を検討し、今後も、連携を進め、会員企業の皆様に情報を提供してまいります。ニューノーマル時代へ向けて、新たに実施してほしい事業などございましたら、ものづくり協力会事務局までご連絡いただければ幸いです。

## 京都市産技研に期待すること 「技術の伝承は文化の伝承」

京都市産技研にアドバイザーとして就任し、3年が経ちました。実は就任直後に産休に入り、ようやく仕事を再開し研究所のことも深く知ることができる、と思った矢先に新型コロナウイルスが流行し、状況が一変してしまいました。今回のコロナ禍で、もちろん弊社も影響を受けました。売上を維持するための方法を探したり、人材登用の仕方を見直したり、といった様々な試みにて経営を続けています。この未曾有の出来事に戸惑われなかった中小企業の経営者の方々は、特に京都という観光都市の特性上、少ないのではないのでしょうか。新たな研究をする体力がなくなった会社もあるでしょう。残念なことにもものづくり文化が途絶えそうになることもあるかもしれません。こうした中、産業技術研究所が存在することで、続いていく技術・文化が必ずあり、結果、続いていく企業が多くあると思います。こ

ちらの機関の存在はいずれ経済が元に戻っていく中で大きな支えとなると改めて感じさせられました。

### 鈴鹿 可奈子 氏

(地独)京都市産業技術研究所アドバイザー  
株式会社聖護院ハッ橋総本店専務取締役



経営者としての基礎を学ぶべく京都大学経済学部に進学、在学中にカリフォルニア大学サンディエゴ校エクステンションへ1年間留学。一般企業を経て同社に入社し、現在は総務や経理、経営企画を統括。季節感のある包装紙の導入や、新感覚のハッ橋“nikiniki (ニキニキ)”ブランドを手掛け好評を得る。

## 若手作家・職人インタビュー

京都市産技研では、伝統工芸作家・職人として各業界で活躍されている修了生のインタビューをホームページで掲載しています。

ものづくり現場の取材を通して、様々な角度からものづくりの魅力を発信することで、若手の活動をPRしています。詳細につきましては、京都市産技研のホームページ内「若手伝統工芸作家・職人のご紹介」ページにてご覧いただけます。



### 第18回 よしだ れい 吉田 麗 さん

平成23年度 京都市伝統産業技術者研修 第2回 プロ養成コース本科 修了  
平成24年度 京都市伝統産業技術者研修 第3回 プロ養成コース専科 修了



「やりたいこと」の感覚を大事にしているうちに、京友禅の世界にはまっていった吉田さん。京友禅の技法の中でも、「糸目糊置」を得意とした職人として活躍される一方、研修修了生と結成したユニット「soin」で作家としても活動しておられます。明るく前向きな吉田さんのお話は笑いが絶えず、楽しく取材させていただきました。

次代をつなぐ

メンバー，京もの活用企業募集中

京もの担い手  
プラットフォーム  
**ninaete**  
URL <https://ninaete.kyoto>



# 知恵産業融合センター 成果事例紹介

知恵産業融合センターでは、京都市産技研の技術支援により試作、製品化に至った事例や「知恵産業」をキーワードとする「伝統技術と先進技術の融合」、新たな「気づき」による新技術・新製品開発につながった事例を成果事例集に取りまとめて、広くPRしています。京都市産技研との共同開発により実用化に至った事例をご紹介します。

## 「ORIBEKKO™」(織鼈甲)の開発

26



京都樹脂株式会社 / 京都市産技研 高分子系チーム・デザインチーム

### 事業概要

- 織物や和紙等の素材を、独自の技術でアクリル板に封入した素材「織鼈甲」を開発しました。素材をあえてピンと張らず自然な状態で封入することで凹凸感が表現され、織物や和紙の魅力がそのまま伝わるため、光の当たり方、見る角度によって様々な表情を楽しむことができますのが特徴です。ホテルの案内板や公的施設等の照明カバーなどに採用されているほか、箸箱・ティッシュボックスなどの小物商品にも展開しています。

### 京都市産技研の支援内容

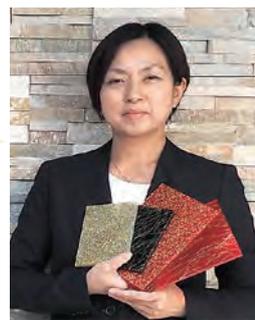
- 展示会出展に向けた全面的支援（織鼈甲を用いたコンセプトアイテムのデザイン開発及び試作、展示会のブースデザイン）
- 織鼈甲の販路拡大に向けた、家電メーカーとのマッチング

### 成果と事業展開

- 独自技術による製法を守りながら、小物雑貨など商品バリエーションを増やす。
- ネット販売や、関東圏や海外への販路拡大に取り組む。



今回、弊社の特殊技法によるアクリルパネル材(ORIBEKKO)の商材に際し、産業技術研究所様のお力添えもあって、その素材間融合技法及び商材新規性に着目いただいた結果、知恵創出「目の輝き」企業に認定をいただき、大変ありがとうございます。これまで以上に伝統産品との樹脂加工技術の研鑽を積み、事業規模の拡充を図るとともに、ひいては京の地場産業への活性化の一助となるべく努力して参ります。



京都樹脂株式会社  
代表取締役社長  
末松 靖子 氏

【企業概要】 企業名 京都樹脂株式会社  
所在地 京都市下京区西七条名倉町29  
電話 075-312-3741 U R L <https://k14co.com/>  
事業内容 アクリル樹脂加工、金属加工、木工製品・別注家具制作  
各種案内サイン制作、屋外広告看板制作取付、販売促進什器制作全般



いつでも、あなたの  
ビジネスのそばに。

### 京都中央信用金庫

本店 / 京都市下京区四条通烏丸西入ル

TEL 075-223-2525

FAX 0120-201-580 (フリーダイヤル)

URL [www.chushin.co.jp](http://www.chushin.co.jp)

総合力と専門性であらゆる  
ビジネスシーンをサポート

創業支援

海外ビジネスサポート

補助金・助成金

ビジネスマッチング

# ICP質量分析装置

～各種材料・製品に含まれる極微量金属成分の測定ができます。～

2020（令和2）年度（公財）JKAの機械振興補助事業（競輪補助事業）により機械金属業界などの振興を図るため、各種工業材料及び製品の分析・評価技術の高度化を目的として次の機器を設置しました。

## ICP質量分析装置

商品名：Agilent 7900 ICP-MS  
【アジレント・テクノロジー（株）】



### 機器の概要

ICP質量分析装置は、溶液試料中に含まれるppb（10億分の1）オーダーの極微量金属成分を分析できる装置です。アルゴンプラズマで溶液試料に含まれる元素をイオン化し、そのイオンを質量分析計で測定します。得られたマスペクトルの $m/z$ から元素成分を定性（存在有無の確認）を行い、信号強度から定量（濃度測定）を行います。また、アルゴンや酸などに由来

する多原子イオンによる大きなバックグラウンド信号（干渉）を低減するコリジョン・リアクションセルを有しており、ほとんど全ての元素の極微量分析が可能です。

### 機器の用途

金属やセラミック、樹脂などの各種材料に含まれる微量金属成分が溶出すると、製品の不具合や、環境・人体への影響などが懸念されます。そのため、製品評価試験により使用部材の清浄度や安全性の確認が必要となります。製品評価試験に代表される溶出試験では、試料に含まれる微量金属成分を測定するため、ICP質量分析装置などが利用されています。

### <測定例>

- ・各種材料に含まれる微量金属成分分析
- ・溶液中（純水など）に含まれる金属不純物の評価
- ・各種材料、製品などの溶出試験

測定条件、溶出条件（溶媒・温度・時間）などはお相談ください。

### 機器の主な仕様

- オートサンプラー
- コリジョンセル（ヘリウムモード）
- リアクションセル（水素モード）
- 超高マトリックス導入システム

担当チーム：金属系チーム

使用料・手数料：要相談

# 創業 事業承継

## のご相談は京信へ

## 京都信用金庫

創業専用ホットライン

☎0120-279-642（平日9:00～17:00）

京都信用金庫 企業成長推進部  
@kyotoshinkin.incubation



## 副理事長就退任挨拶



伝統と先進が融合する場 京都市産技研

しとぎわ  
志渡澤 祥宏

「伝統か先進か」。研究員の日々の業務、来所される地域企業の皆様、さらに伝統産業後継者育成研修の受講生の姿を見つつ、その二つがどのように連携していくのか、どちらを取捨選択すべきかを日々考え、模索していたら、あっという間に2年の月日が経過、その一つ一つを見るのではなく、この京都市産技研の中に、常に伝統と先進があり続けていることが、新たなケミストリー、化学反応の礎になっているのだと気づいた時には卒業することと相成りました。

今後は京都市職員の立場で、京都市産技研が常に変化する時代の中で、「伝統と先進」をどのように融合させ、あらたなケミストリー、ムーブメントを起こすのかを期待、応援していきたいと思えます。京都市産技研に幸あれ。



伝統とは革新の連続～イノベーションの創出をめざして

やすこうち  
安河内 博

令和3年4月1日付けで、下京区長から京都市産技研副理事長（京都市産業イノベーション政策監）に就任いたしました安河内 博です。

前々職の産業観光局商工部長時代、京都市産技研と様々な協働をさせていただきましたが、歴史と伝統に裏打ちされた高度な技術力と的確な助言に大いに助けられました。

「伝統とは革新の連続。革新を止めてしまえば単なる伝承産業になってしまう。」伝統工芸の匠の皆さんからよくお聞きした言葉です。京都市産技研といたしましても、分野の枠を超えて、地域企業や大学、研究機関の皆様と積極的に連携する中で、常に革新を続け、所員一丸となって社会課題の解決に資するイノベーションを創出してまいります決意です。

## 令和2年度 伝統産業技術後継者育成研修修了実績報告

京都市産技研では、西陣織、京友禅、京焼・清水焼、京漆器など、伝統産業の後継者となる技術者を育成するために、全国的にも有数の規模を誇る後継者育成研修を実施しています。令和2年度は、下記のとおり研修を実施し、70名の修了生を輩出しました。

コ ー ス 名		実 施 期 間	修 了 生
陶 磁 器	陶磁器コース	R2.4 ~ R3.3	3名
釉 薬	釉薬実務者コース	R2.5 ~ R3.3	8名
漆 工	漆工応用コース	R2.4 ~ R3.3	5名
西 陣 織	西陣織コース（通常過程）	R2.8 ~ R3.2	5名
染 色	染色基礎コース	R2.9 ~ R2.10	6名
京友禅染 （手描）	基礎コース	R2.10 ~ R2.11	10名
	プロ養成コース	R2.4 ~ R3.3	7名
	専門コース	R3.2 ~ R3.3	26名
合 計			70名

